

和歌の楽しみ

—みちのくの歌枕を訪ねて—

講師 神作研一さん 国文学研究資料館・教授

かんさくけんいち

和歌に詠まれた名所を「歌枕」といいます。本講座では、「白河の関」など、みちのくの歌枕を探索して、和歌の楽しさや奥深さをお伝えします。本意（ほい）、掛詞、縁語など和歌を詠むためのポイントを紹介するとともに、和歌を記した書物（歌書）に関する具体的な取り上げます。



能因法師「都をば霞とともにたちしかど秋風ぞ吹く白河の関」

日時 2026年5月22日（金）午後2時～4時

会場 女性総合センター・5階 第3学習室

定員 40人（申込順・電子申請で→→→）

費用 無料

持ち物 筆記用具

申込み 4月27日（月）午前8時30分から

問合せ 生涯学習推進センター 042(528)6872

「きらきら☆カード対象講座」



主催：たちかわ市民交流大学市民推進委員会

【講師のご紹介】

日本近世文学、特に和歌史・学芸史専攻。

院生の時以来、江戸の人々が学び楽しんだ「和歌」というものの持つチカラを探索する〈旅〉を続けて、今に至ります。

江戸に即して／古典籍に寄り添って、地味だけど面白い銀の仕事をと心掛けています。墨田区生まれ、荷風縁りの市川育ち。恩師は能村登四郎（のむらとしろう）・田村禎之（よしゆき）・市川中高）・大輪（おおわ）靖宏（上智大学）・雲英（きら）末雄・林望（のぞむ）。

近詠一句 濃き薄き 花の吉野の つづら折り 研一

【会場への地図】

- (1) JR 立川駅北口より徒歩7分
 - (2) 多摩都市モノレール立川北駅より徒歩5分
- *施設には駐車場・駐輪場はありません。

